

2024年2月期

決算補足説明資料

2024年4月12日

シンメンテホールディングス株式会社

(東証グロース：6086)

■ 過去最高の売上・利益へ伸長

売上高 **223億54百万円**(前期比15.2%増)

経常利益 **12億59百万円**(前期比19.4%増)

■ 過去最高配当

好業績に伴い、期初予想23円を27円とする過去最高配当を実施予定。

- 1. シンメンテホールディングスについて**
- 2. 2024年2月期 決算報告**
- 3. 2025年2月期 業績予想**
- 4. 今後の見通し**
- 5. Q&A**

1

シンメンテホールディングスについて

経営理念 ビジネスモデル

経営理念

夢新（むしん、ゆめあらた）

豊かな人生、豊かな社会の実現という夢をもち、新たな挑戦を続ける集団でありたいと考えております。

ビジネスモデル

- チェーン展開している店舗・施設の設備・機器のトータルメンテナンスサービスを提供。
- 業界最大規模の全国メンテキーパーネットワークを駆使した迅速かつローコストサービスを提供する仕組みが強み。



お客様の業態

■ 飲食業界で培った経験・ノウハウを活用し、物販等、チェーン展開をしている様々なお客様の店舗・施設設備の不具合を解決し続けている。

飲食

- ・居酒屋
- ・カジュアルレストラン
- ・高級レストラン
- ・ファーストフード
- ・弁当、総菜
- ・喫茶、カフェ
- ・焼肉、ステーキハウス
- ・寿司
- ・中華
- ・料亭
- ・定食、そばうどん
- ・ビアホール



物販・小売

- ・ドラッグストア
- ・調剤薬局
- ・家電量販店
- ・家具・インテリア専門店
- ・ホームセンター
- ・100円ショップ
- ・紳士服専門店
- ・カジュアル衣料専門店
- ・メガネ専門店
- ・生活雑貨
- ・書店
- ・靴専門店
- ・スポーツ用品専門店
- ・パソコン専門店
- ・サイクルショップ
- ・自動車販売業
- ・中古車販売
- ・ガソリンスタンド
- ・リカーショップ
- ・食品スーパー
- ・コンビニ



介護・理美容・その他

- ・介護（施設系サービス）
- ・介護（在宅系サービス）
- ・美容室
- ・理容室
- ・エステ
- ・温浴施設
- ・フィットネス
- ・整体マッサージ
- ・カラオケ、漫画喫茶
- ・ペットショップ
- ・学習塾
- ・ホテル
- ・コインランドリー
- ・社員寮
- ・自治体、公共事業
- ・医療施設



チェーン展開している店舗・施設にサービスを提供

メンテナンス サービスアイテム

■24時間365日 幅広いメンテナンスサービスを提供。主に、緊急メンテ、Pメンテ、保守サービス。

※Pメンテとは、ビッグデータに基づき、各店舗に合わせた最適なメンテナンス計画を提案、実施する計画修繕のことである。



厨房機器



衛生設備
トイレ



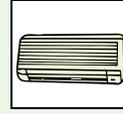
電気設備



グリストラップ清掃
浄化槽保守



ガス設備



エアコン



内外装



消防点検



水まわり



給排気設備
ダクト

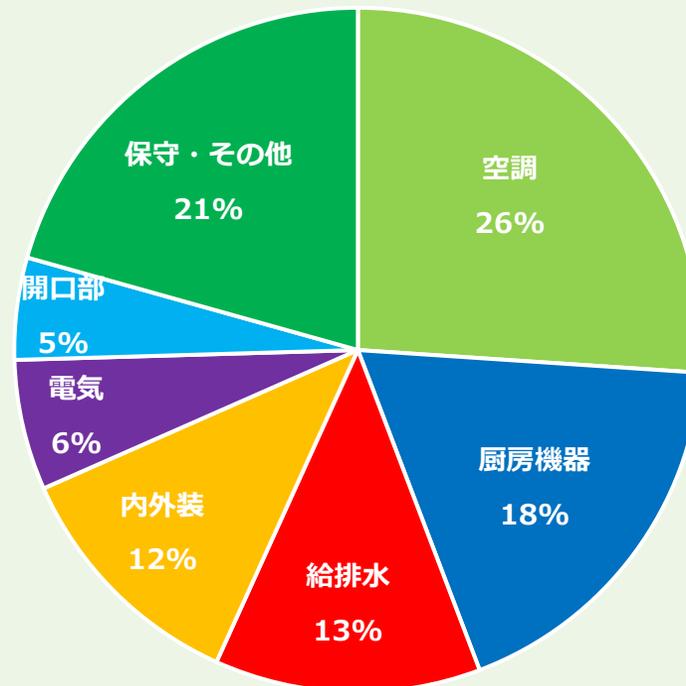


扉・鍵
ガラス

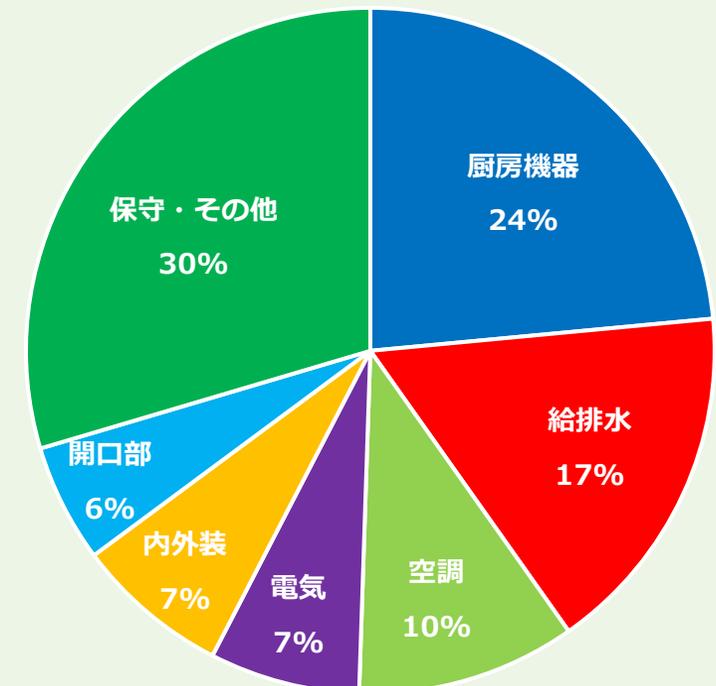


廃棄物管理

売上高構成比



対応依頼件数構成比



※各円グラフの集計期間は2023年3月～2024年2月

※その他の内訳
消防点検、廃棄物管理など

※開口部の内訳
扉・鍵・ガラスなど

2

2024年2月期 決算報告

決算の概況

(単位：百万円、%)

損益	2023年2月期 実績		2024年2月期 予想		2024年2月期 実績	
		構成比		構成比		構成比
売上高	19,408	100.0	20,836	100.0	22,354	100.0
売上総利益	4,298	22.1	4,630	22.2	5,017	22.4
販管費	3,245	16.7	3,518	16.9	3,762	16.8
営業利益	1,053	5.4	1,111	5.3	1,255	5.6
経常利益	1,054	5.4	1,110	5.3	1,259	5.6
親会社株主に帰属する 当期純利益	687	3.5	714	3.4	861	3.9
1株当たり配当金	23.00円	—	23.00円	—	27.00円	—

■売上高

景気全体が緩やかに回復する中、コロナ禍で勝ち得た顧客からの信頼を元に、更なる新規顧客の獲得、既存顧客のエリア及びメンテナンス対象種類の増加により過去最高の売上高となった。

■売上総利益

資材価格の上昇等に伴うコスト増を織り込み、前年並みを見込んでいたが、スケールメリットを活かした仕入れ購買力の向上により売上総利益率が0.2%増加した。

■当期純利益

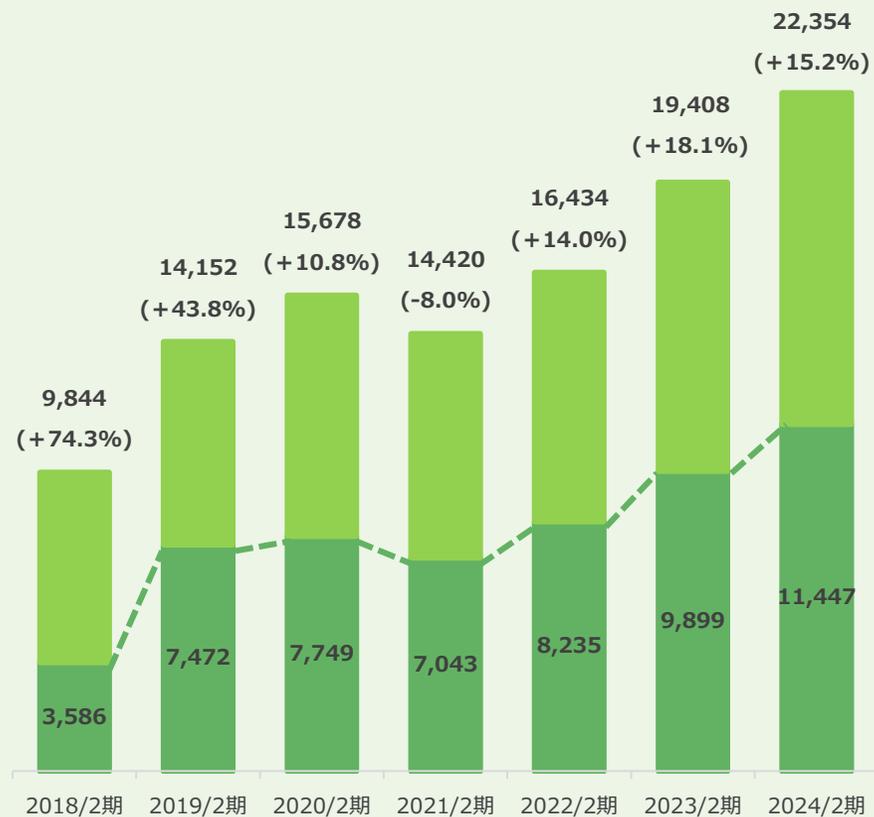
好調な業績に加え、賃上げ促進税制の適用により法人税額が減少したこともあり、過去最高となった。

売上高/経常利益の推移

■ 新型コロナウイルス感染症の影響により、2021年2月期は一時的に落ち込んでいるが、安定的に成長している。

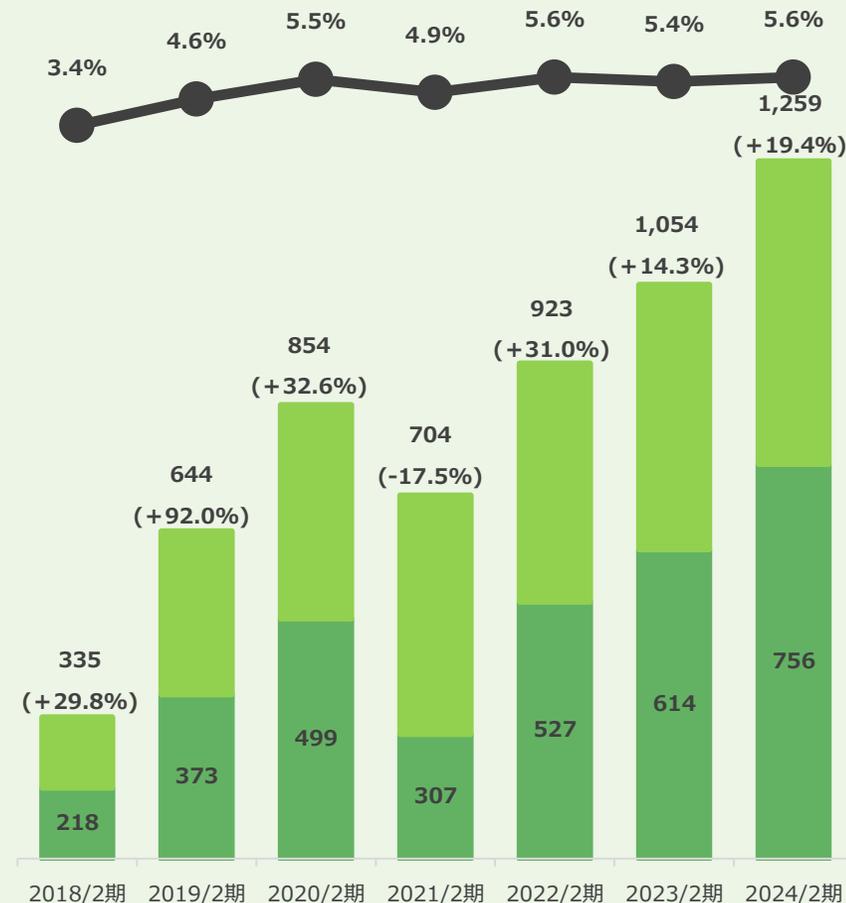
【売上高】

(単位：百万円)



【経常利益・経常利益率】

(単位：百万円)



■ 上半期 ■ 下半期 () は前年増減率

■ 上半期 ■ 下半期 () は前年増減率

貸借対照表

(単位：百万円)

■ 資産

- ・利益の増加、取引量の拡大により現預金が689百万円増加、売掛金が349百万円増加。

■ 負債

- ・取引量の拡大により買掛金が412百万円増加。
- ・返済により借入金が160百万円減少。

■ 純資産

- ・当期純利益の計上により利益剰余金が620百万円増加。

	2023年2月期 実績	2024年2月期 実績	前期増減
資産	7,059	8,302	1,242
流動資産	6,263	7,313	1,050
固定資産	796	988	191
(内、のれん)	33	61	28
負債	4,105	4,629	523
流動負債	3,383	3,995	611
固定負債	721	634	△87
純資産	2,954	3,672	718

3

2025年2月期 業績予想

2025年2月期 業績予想

(単位：百万円、%)

損益	2024年2月期 実績		2025年2月期 予想		前期増減	
		構成比		構成比		増減率
売上高	22,354	100.0	24,171	100.0	1,817	8.1
売上総利益	5,017	22.4	5,452	22.6	435	8.7
販管費	3,762	16.8	4,152	17.2	390	10.4
営業利益	1,255	5.6	1,300	5.4	44	3.6
経常利益	1,259	5.6	1,300	5.4	41	3.3
親会社株主に帰属する 当期純利益	861	3.9	880	3.6	18	2.1
1株当たり配当金	27.00円	—	28.00円	—	—	—

■売上高

これまで同様、飲食業界は勿論のこと、物販・小売業、介護業界など幅広くサービスを提供し8%超の増収を見込む。

■売上総利益

物価高による資材価格の上昇が見込まれるが、継続した仕入れ購買力の強化により0.2%増の売上総利益率を見込む。

■販管費

賃上げによる人件費の増加を見込むことで、10.4%増加を予想する。

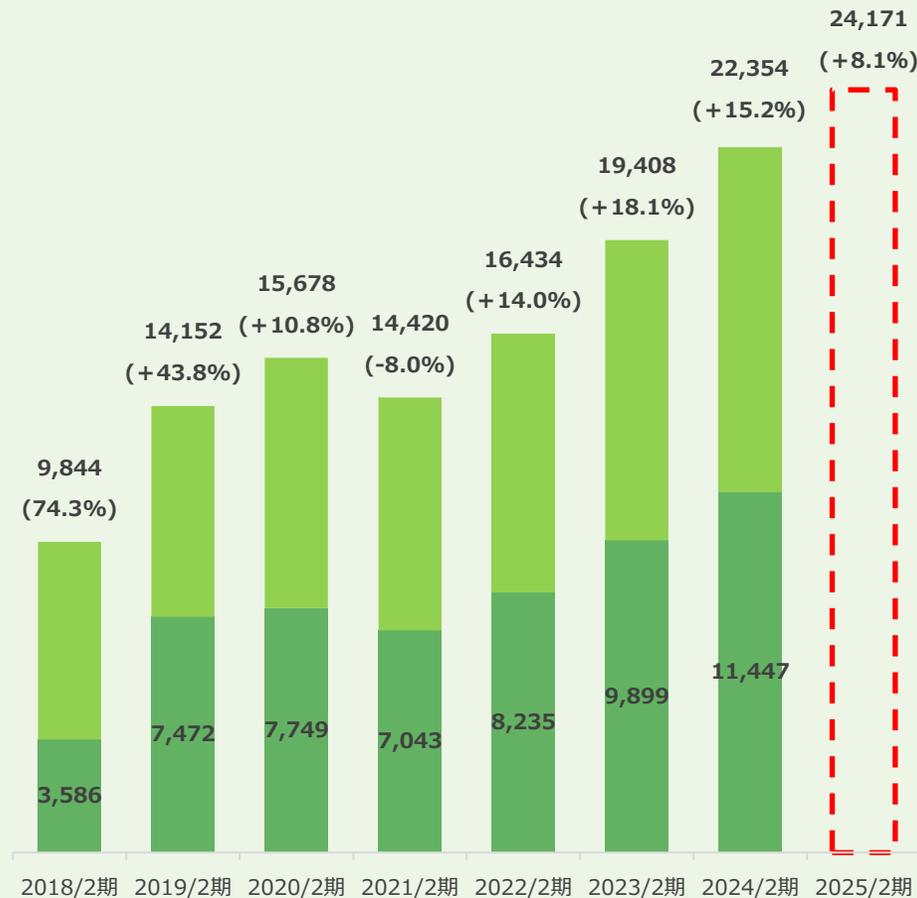
■当期純利益

増収による増益を見込む。

業績予想を含む 売上高/経常利益 の推移

【売上高】

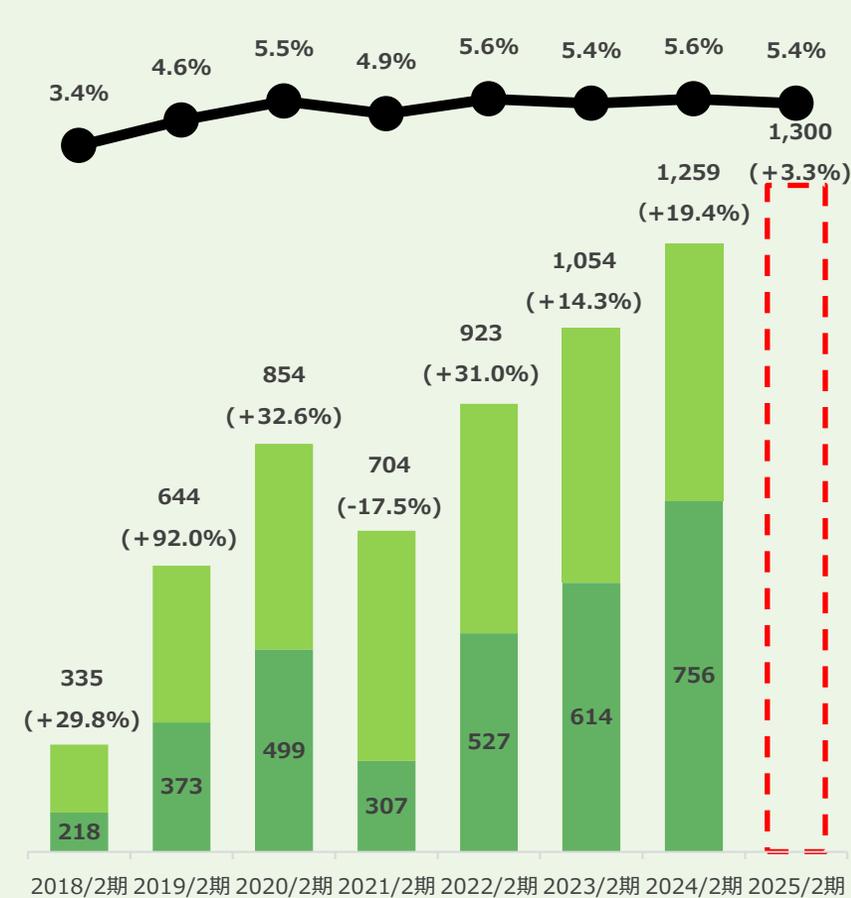
(単位：百万円)



■ 上半期 ■ 下半期 () は前年増減率

【経常利益・経常利益率】

(単位：百万円,%)



■ 上半期 ■ 下半期 () は前年増減率

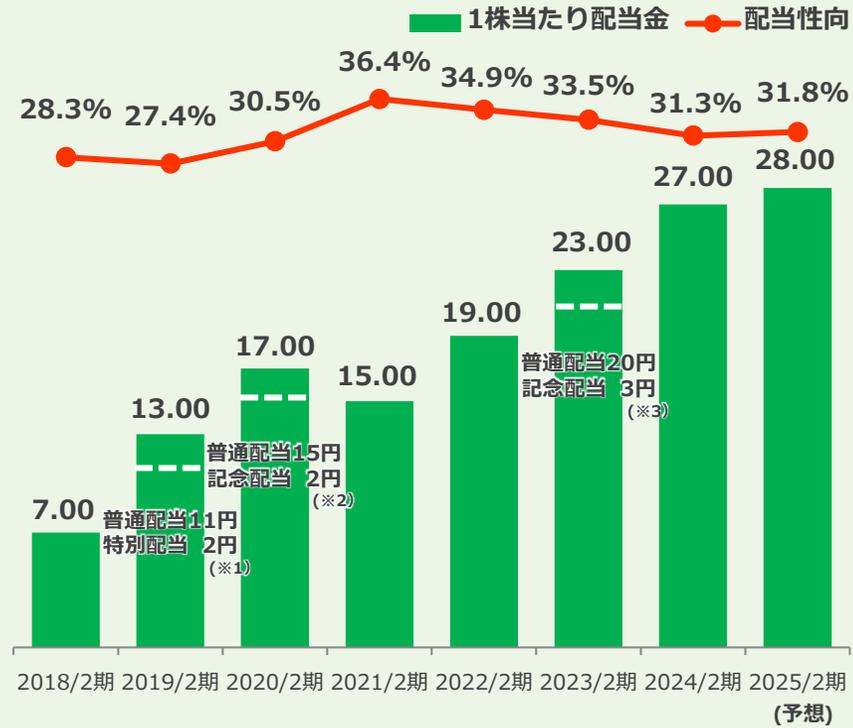
株主還元状況

■ 配当方針

株主の皆様への利益還元を重要な経営課題の一つとして、配当原資確保のための収益力を強化し継続的かつ安定的な配当を行うことを基本方針とする。

【1株当たり配当金と配当性向】

(単位：円)



(注) 2020年3月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。本チャートにおける配当金は、遡及修正を行い表示しております。

(※1.2) 当初予算を超過したことによる特別配当を実施いたしました。

(※3) 上場10周年の記念配当を実施いたしました。

【株主優待】

保有株数	優待内容
100株以上 500株未満	ジェフグルメカード 500円相当
500株以上 1,000株未満	ジェフグルメカード 1,000円相当
1,000株以上	ジェフグルメカード 3,000円相当

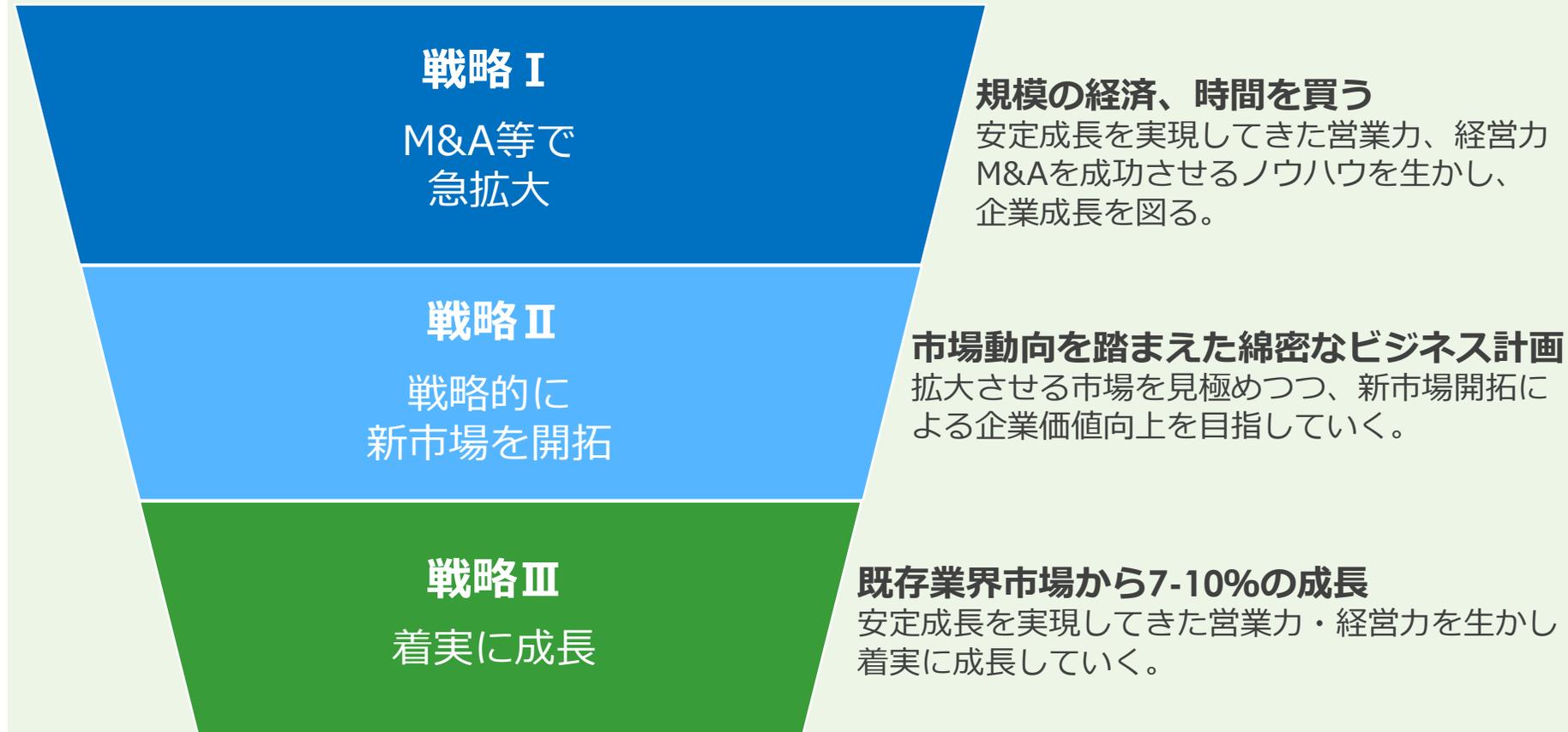


4

今後の見通し

成長戦略

■ 当社のメンテナンス事業において、国内5000億円超のマーケットがあると考えており、拡大余地は大きく、さらなるシェアの拡大を図る。



M & Aの基本方針

- 規模の経済、時間を買う
これまで安定成長を実現してきた営業力や経営力に加え過去M & Aを成功させたノウハウを生かし、対象会社のみならずグループ全体の成長を図る。

● ターゲット

- ・ メンテナンス事業を行っている会社
- ・ メンテナンス事業とシナジーのある周辺領域を扱っている会社
- ・ 対象会社の本店所在地や営業エリアは国内外を問わない

● 戦略視点

- ・ 創業以来安定成長を実現してきた当社の経営力を生かし、対象会社の成長を加速させる
- ・ 当社におけるPMI成功実績を踏まえた対象会社の成長戦略
- ・ 対象会社を当社の同業（周辺領域を含む）に絞ることによるPMIリスクの最小化

● 財務

- ・ 適切な財務健全性に基づき投資
- ・ 合理的なEBITDA倍率を基準
- ・ 原資は、負債調達を基本としつつ、資本調達も選択肢の一つ

戦略Ⅱ

■ 既存顧客

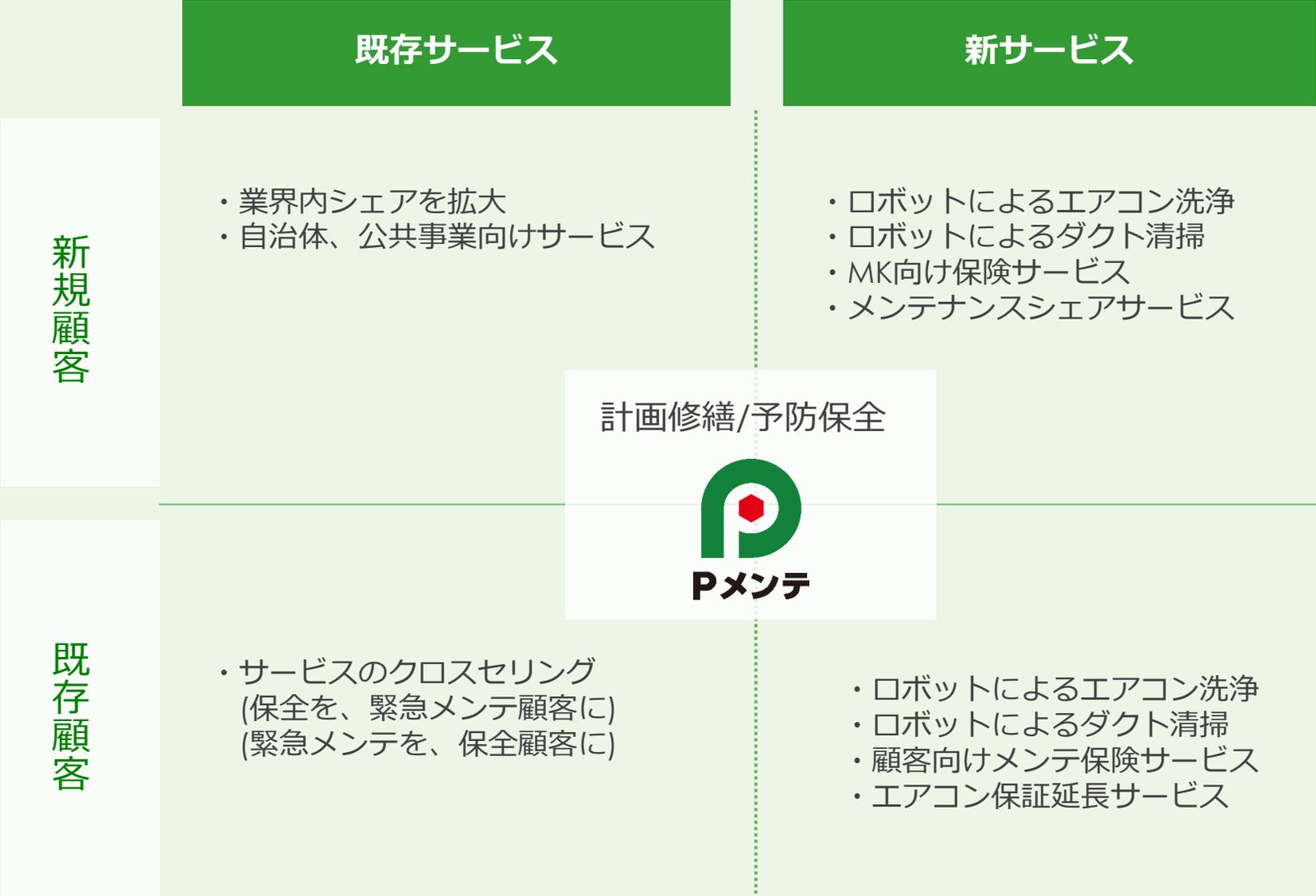
ご利用いただいていないサービスのクロスセリングを実施。

■ 新規顧客

新サービスをテコに拡大。

■ すべての顧客

需要の高いPメンテを全国的に推進していく。



Pメンテ（計画修繕）

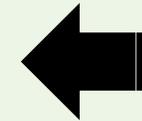
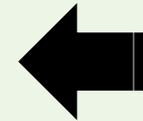
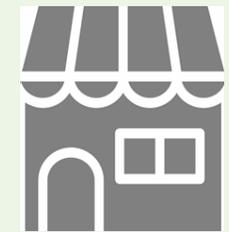
■メリット

- ・営業機会損失の低減。
- ・突発的な修理・修繕コストの圧縮。
- ・メンテナンスに関する資金の計画的な確保。
- ・計画的に店舗の好環境を維持。



データに基づき、各店舗に合わせた最適なメンテナンス計画を提案、実施

工種、部位ごとに過去10年で約140万件以上のビッグデータやAIを活用実績に基づき、メンテナンス計画を分析



- 業界を分析し、優先順位をつけて拡大を図ることで、迅速・確実な成長を目指す。

飲食業界

- ・ 中食や新興の企業
- ・ テイクアウト中心の企業

食の楽しみを支える

- 飲食業界・顧客の復調による依頼増加に適切に対応する。
- 好調な空調関連メンテナンスに加え内外装など他アイテムの需要を掘り起こす。

飲食業界以外

- ・ 物販、小売、介護、理美容等
- ・ 保育、ホテル、カーディーラー等
- ・ 自治体/公共事業、病院等

豊かな生活/健康と娯楽/ 社会インフラを支える

- 経験、ノウハウを積み上げつつ、依頼アイテムを獲得していく。
- 売上構成比率は高まっているため、さらに販売促進活動を強化、継続し既存顧客を拡大していく。

人的資本

- ・ 社内環境の更なる向上
- ・ ネットワークの安定性

- 業容拡大を支える人材の採用や教育、ケアに努める。
- 地方の営業活動強化に伴い不足が予想されるメンテキーパーネットワークの安定性を確保する。

ロボット洗浄事業スタート6か月を計画通りに終えた

- ・新会社「シンロボサービス株式会社」をM&Aにより発足させ、2023年9月より営業を開始。6か月が経過。
- ・計画通り10台のロボットを製造し、市場投入を開始している。
- ・「お試しキャンペーン」にて、飲食、介護等のお客様に現場を見ていただいたところ、リピート発注をいただく等、好感触を得ている。コアとなる協力業者の育成と拡大に努めている。



ロボットによる 業務用エアコン洗浄 サービス

- 3K（きつい、汚い、危険）と言われる業務用エアコンの分解洗浄業務。
- 企業では、SDGs活動が定着し、環境への配慮、“エコ”に繋がる施策が奨励されている。
- 電力コスト削減、クリーンな空気に対する要求が高まる一方労働人口減少を背景に、洗浄の担い手不足が懸念される。
- ロボットによるエアコン洗浄は「誰でも」「均一品質」を実現できる画期的な解決策。

これから

今期30台、近い将来100台/年の生産を計画通り推進する。

協力業者の育成と拡大を図り、サービス提供能力を高める。

安定したサービス提供のための品質マニュアル整備を進める。

業務用エアコン洗浄サービスで圧倒的なシェアを獲得。



5

Q&A

質問	回答
業績変動は季節の影響が関係しているか。	関係している。夏場の猛暑や台風の影響で機器故障が多く発生する。
機器や部品の供給不足による影響はあるか。	影響はうけたが、事前に在庫確保等の対策を行っていた。
外食の店舗数減少による影響はあるか。	店舗数減少により依頼件数は減少したが、外食以外にも幅広く参入していたため影響はあまり受けなかった。
競争優位性はあるか。	自社でサービスマンを抱えず、全国メンテキーパーネットワークを駆使し、迅速に解決する。また、規模の経済によりメンテナンスコストを最適化している。
中期経営計画を出す予定はあるか。	国内外の政治、経済状況を見定め、ある程度見通しがつき次第、作成を検討している。

IRに関する免責事項

当資料は、投資家の皆様にシンメンテホールディングス株式会社への理解を深めていただくことを目的として、経営や財務に関する情報を提供するものです。

以下の点をご了解の上、ご覧ください。

- 見通し等は、作成時点において当社が予測しうる範囲内で作成したものです。
- 記載の見通し等とは異なる結果を生じ得るリスクを含んでおりますことをご承知ください。
- 投資に関する決定は投資家ご自身のご判断において行われるようお願いいたします。
- 掲載内容について細心の注意を払っておりますが、不可抗力によって情報に誤りを生ずる可能性もございますので、ご注意下さい。

問い合わせ先

シンメンテホールディングス株式会社
I R担当

E-mail : info@shin-pro.com

Tel. : 03-5767-6461

Fax. : 03-5767-6462

ホームページ : <https://www.shin-pro.com/>